

令和5年度 一般選抜前期日程 福祉情報学部 小論文
出題の意図と解答の傾向

【出題の意図】

近年、複数のマスコミ報道もあり、子どもの貧困やヤングケアラーへ認識は少しずつ上がってきているが、多くの人は知っているのに気づいていない。SDGsにおいても、「貧困をなくそう」は1番に掲げられており、早急に取り組むべき課題である。一方、ヤングケアラーをめぐる議論にはまだ緒に就いたばかりであり、貧困の視点が抜け落ちていると指摘している研究もある。このことから、子どもの貧困とヤングケアラーの関連について考察する問題は時宜に適ったものでもあり、先駆的でもある。

第1問の主な採点基準

1. 個々の図表が示す事実の読み取り

- (1-1) 2012年以降の子どもの貧困率の低下
- (1-2) 貧困率の低下は二人親世帯の影響が大きい（貧困率の低下に大きく寄与している）
- (1-3) 貧困率の低下はひとり親世帯では起きていない（むしろ貧困率を高めている）
- (1-4) 2012年以降、所得は増加している一方で社会保障や児童手当が減少している
- (1-5) 2012年以降、子どもの貧困率は低下しているが、2015年時点でも、国際的な基準では貧困率は決して低くない

2. 個々の図表を関連付けた解釈

- (2-1) 二人親家庭では（ひとり親家庭と比較して）働き手となる人員が多いため、所得が増加した結果として貧困率の低下を生み出した
- (2-2) ひとり親家庭では（二人親家庭と比較して）所得の向上が望みにくく、児童手当や社会保障給付削減の影響を大きく受けやすいことから、2012年以降貧困状況はむしろ悪化している

第2問の主な採点基準

問1

1. 家族構成の特徴への言及

- (1-1) 祖父母と同居している世帯にヤングケアラーが多い
- (1-2) ひとり親世帯にヤングケアラーが多い（二人親世帯ではヤングケアラーが少ない）
- (1-3) 母親がいない世帯にヤングケアラーが多い

2. 家族構成の特徴がヤングケアラーを生み出すプロセスの解釈

- (2-1) 祖父母と同居している世帯では、子どもにも祖父母の介護を担う必要性が生じやすい
- (2-2) ひとり親世帯では、親が仕事と家事に追われ困憊しやすくなるため、子どもが家事

や弟妹の世話などを担う必要性が生じやすい

問 2

1. 家庭の経済状況とヤングケアラー率の関係への言及

(1-1) 経済的余裕がない家庭でヤングケアラー率が高い

2. 経済的に余裕がない家庭でヤングケアラーが生じるプロセスについての推察

(2-1) 余裕がないので医療・介護サービスの利用料を負担することができず、子どももケアの分担をする必要が生じる

(2-2) 経済的に余裕がないために、親がより仕事に追われやすくなり、家事や弟妹の世話を子どもが分担する必要性が生じる

(2-3) 経済的に余裕がないので、家事負担を軽減するサービスや用具を導入できずに、子どもも家事を分担する必要が生じる

問 3

1. 問 1・問 2 の論点の整理

(1-1) 家族形態とヤングケアラーの発生率に関連性がある

(1-2) 家庭の経済状況とヤングケアラーの発生率に関連性がある

(1-3) ヤングケアラー問題は個々の家庭事情に属する私的な問題ではなく、社会構造的な問題と認識すべきである

2. 上記以外の論点の整理

(2-1) ヤングケアラーにはケアを担っている事実を独りで抱え込み、誰にも話さない子どももいる

(2-2) ヤングケアラーである子どもの相談相手として、友人や学校の先生など身近な人物の存在も重要である

3. 支援のあり方に関する提言

(3-1) 社会構造的な問題であるからこそ、個別の事例対応ではなく、社会保障制度や対人援助の枠組みから見直す必要性がある

(3-2) 現状は医療、介護、福祉の専門職の支援が、とくにヤングケアラーである子どもたちには届いていないので、専門職の方からより意識的に働きかける必要がある

(3-3) 専門職だけではなく、ピアサポートなどインフォーマルサポートの活用も考える

(3-4) ヤングケアラーに対する理解を促進する啓発・教育活動を実施する

※上記以外についても、専門的な見地から妥当である提言があれば加点する

【解答の傾向】

第 1 問

・個々の図表から特徴を 1 つは正確に読み取る事のできている解答が多かったが、2 つ以上

の特徴を読み取った者はあまりいなかった。

- ・複数の図表を関連付けて総合的に読み取った解答ができている記述は 10%程度であった。

第2問

問1

・課題文および表から、家族構成（家族類型）とヤングケアラーの発生率の関係性を解釈するように求める設問であるが、表内の最大項目など、一部のデータに着目して解答しているケースが多く、複数データ間でみられる特徴を整理して総合的に記述した解答は半数程度にとどまった。

・文章化するにあたって、課題文中の用語や表現を採り入れてはいるもののその文意を十分につかみきれていないと思われる解答が散見された。

問2

・ヤングケアラーと貧困の関係として、「貧困によりヤングケアラーを生み出している」と考えられるが、多くの解答で「ケアをしているから貧困になる」と捉えた内容の記述が見られた。

・経済的に余裕がない家庭でヤングケアラーが生じるプロセスについて「推察する」ことが求められる問題であったが、文中の要約にとどまっている解答が目立った。

問3

・論文の体を取っていない文章が見られた。書き出しや改行のときに一文字下げる等、これらが守られていない文章が見受けられた。

・作問者の問いに答えられておらず、自分が書きたい文章を説明するだけの文章がしばしば見られた。「問1と問2を踏まえて」と問うているので、これらの論点整理を済ませて書き出すことが求められる。